



2020年
3月25日(水)

17:00~18:30

東京グランドホテル 芙蓉の間

参加無料

対談イベント

写真：松本榮一

「地域社会の再生を考える ～宗教者とNGOの視点から～」



島 蘭 進 先生

上智大学大学院
実践宗教学研究科教授



大 菅 俊 幸 氏

曹洞宗総合研究センター
講師

現在、地域社会を考える上で、宗教者の果たす役割が求められています。日本でも有数の宗教学者である島蘭進先生に宗教界における社会貢献の現状と宗教界の可能性についてお話いただき、シャンティ国際ボランティア会の創設者である故・有馬実成師が伝え続けた「人間の尊厳と多様性」について、曹洞宗総合研究センター講師の大菅俊幸 シャンティ専門アドバイザーからご紹介いただきます。

島 蘭 進 先生（しまぞの すすむ）

上智大学大学院実践宗教学研究科教授、グリーンケア研究所所長、東京大学名誉教授（宗教学者）。日本近代宗教史、死生学などが専門で、現代社会において果たすべき宗教の役割についても強い関心を持ち、多数の著書、論文などの業績がある。著書『日本仏教の社会倫理―「正法」理念から考える』では、近代的な宗教観のもとで見落とされがちであった日本仏教の倫理性・社会性の側面が現代社会の中で再び顕わになりつつあることを論じている。かねてよりシャンティにも注目していただき、月刊『曹洞宗報』の連続インタビューでは大菅俊幸氏と対談もしている。

大菅 俊幸 氏（おおすが としゆき）

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）専門アドバイザー、曹洞宗総合研究センター講師。1950年、宮城県石巻市生まれ。駒澤大学大学院修士課程仏教専攻修了。高校教員などを経てシャンティの創立者有馬実成師に共鳴し、NGOの世界へ転身。仏教精神に根ざした社会貢献活動（仏教ボランティア）を探究してきた。シャンティでは、約20年間、国内事業、広報畑で活動。著書は、有馬実成師の評伝、『泥の菩薩―NGOに生きた仏教者 有馬実成』（大法輪閣）、『慈悲のかたち―仏教ボランティアの思考と創造』（佼成出版社）など。2020年春には、島蘭先生の対談など掲載の編著発刊の予定。

対談イベント概要

時 間：対談イベント 17:00～18:30

会 場：東京グランドホテル 芙蓉の間

（東京都港区芝2-5-2 / TEL：03-3456-2222）

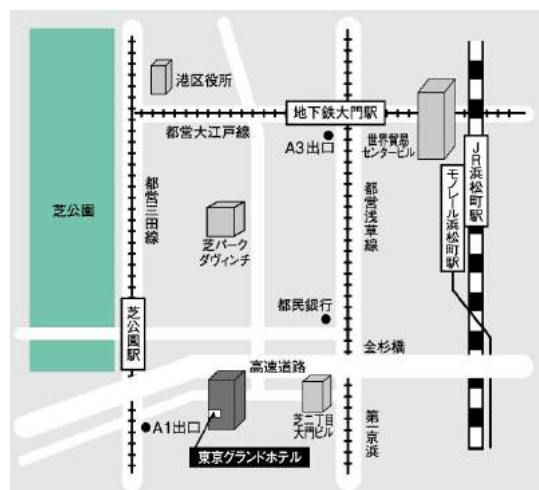
最寄り駅

都営地下鉄 三田線「芝公園」A-1出口 徒歩2分

都営地下鉄 浅草線・大江戸線「大門」A-3出口 徒歩8分

JR山手線・京浜東北線「浜松町」南口 徒歩10分

参加費：無料



お申し込み方法・お問い合わせ先



お申込みはコチラから

公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
広報・リレーションズ課
東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F
TEL:03-6457-4585（平日10時～18時）

